

市長定例記者会見の概要(令和4年第4回市議会定例会ほか)

11月24日、14:00～、201会議室

令和4年第4回市議会定例会(11月29日に召集)について概要説明を行いました。
続いて下記項目を発表。

コロナ禍における「立川市総合緊急対策」(緊急対応方針・第9弾)について

- 1
 - ・たちかわ子育て応援金(物価高騰対策)事業
 - ・燃やせるごみ専用袋全戸配布事業
 - ・保育施設・幼稚園等に対する補助
 - ・学校給食食材費高騰への対応(追加分)
 - ・新型コロナ対応市内医療機関・医療従事者応援プロジェクト

2 「コロナ禍でもプレミアムな結婚を」キャンペーン開催について

3 「東京・多摩エリアの発酵が集まる博覧会」について

4 「立川シアタープロジェクトのお知らせ」について



コロナ禍における「立川市総合緊急対策」 (緊急対応方針・第9弾)

令和4年11月22日

コロナ禍における「立川市総合緊急対策」 (緊急対応方針・第9弾)

- ▶ 本市では、これまで8回にわたり緊急対応方針を示し、新型コロナウイルス感染症関連対策に取り組んでまいりました。
- ▶ 今般の原油価格・物価高騰の影響等を踏まえ、新型コロナウイルス感染症関連対策とともに「コロナ禍における『立川市総合緊急対策』（緊急対応方針・第9弾）」としてとりまとめ、国の地方創生臨時交付金等を活用し、速やかに補正予算案を提出し取り組んでまいります。

I 原油価格・物価高騰関連緊急対策	P 3～5 (12月補正予算額 約4億4,300万円)
II 新型コロナウイルス感染症関連対策	P 6～8 (12月補正予算額 約3億3,500万円)

I 原油価格・物価高騰関連緊急対策



(1) たちかわ子育て応援金(物価高騰対策)事業【市事業】

(補正予算案 約3億2,200万円)

→子育て世帯に対して、所得制限を設けず、18歳以下の子ども1人につき1万円の現金を市独自に支給します。

- ・対象：今年度末までに生まれた0～18歳（高校生相当年齢）まで 約3万1,000人
- ・立川市から12月分の児童手当を受給する方は12月中にお知らせ通知発送、それ以外の方は令和5年1月上旬に申請書発送予定

(2) 燃やせるごみ専用袋全戸配布事業【市事業】 (補正予算案 約7,400万円)

→市内全世帯に家庭用燃やせるごみ専用袋の全戸無料配布を行います。

- ・対象：住民登録している世帯等 約96,000世帯（所得による制限無し）
- ・配布数：1～2人世帯⇒小袋（10ℓ）30枚
3人以上世帯⇒小袋（10ℓ）60枚
（1～2人世帯は月10枚、3人以上世帯は月20枚使用換算で3か月分を想定）
- ・配布時期：令和5年3月頃（地域別に順次発送する方向で調整中）

3

I 原油価格・物価高騰関連緊急対策



(3) 保育施設・幼稚園等に対する補助【都・市事業】 (補正予算案 約4,400万円)

→国の地方創生臨時交付金と都の保育所等物価高騰緊急対策事業を活用し、物価高騰に直面する保育施設等について、高騰する光熱水費等を対象とした補助を行います。

- ・対象期間：令和4年10月～令和5年3月分
- ・対象施設：認可保育所、地域型保育施設（小規模保育事業、家庭的保育事業）、幼稚園、認定こども園、企業主導型保育施設、認証保育所
一時預かり事業、定期利用保育事業、病児保育事業

(4) 学校給食食材費高騰への対応(追加分)【市事業】 (補正予算案 約300万円)

→物価高騰による食材費の増額分を支援し、保護者の負担を回避するため、令和4年6月より実施している学校給食費の補助について、同年10月時点で物価上昇の影響額が拡大していることから追加の補助を行います。

- ・当初分：給食一食当たり10円 令和4年6月～5年3月
- ・追加分：給食一食当たり5円 令和4年12月～5年3月

4



I 原油価格・物価高騰関連緊急対策

(5) 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業【国事業】

(補正予算化済み 約13億8400万円)

→特に家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯等)に対し、1世帯当たり5万円を支給します。

- ・対象：住民税非課税世帯 25,000世帯、家計急変世帯 2,000世帯
- ・11月4日確認書発送、12月6日第1回目の振込予定日

(6) その他の取り組み(継続事業)

- ①キャッシュレス決済を活用した生活応援キャンペーン事業
- ②たちかわ版・出産応援育児パッケージ
- ③中小事業者物価高騰等緊急支援事業
- ④物価高騰等対策特別借換資金
- ⑤物価高騰対策農業者支援事業
- ⑥農業生産団体向け補助事業の価格高騰分上乗せ支援
- ⑦交通事業者緊急支援事業

5

II 新型コロナウイルス感染症関連対策



(1) 家庭ごみ収集事業【市事業】

(補正予算化済み 約300万円)

→一定の条件に該当する世帯を対象に、ごみ処理手数料の減免措置として指定収集袋を交付する際に、新型コロナウイルス感染リスクを抑えるため、宅配便により対応します。

(2) 立川文化芸術のまちづくり協議会支援事業【市事業】

(補正予算化済み 約200万円)

→「立川文化芸術のまちづくり協議会」を通じ、市民団体が行う文化芸術活動事業に対し、申請件数が増加していることから、臨時支援を拡充します。(9月末申請終了)

(3) 高齢者インフルエンザ予防接種事業【市事業】

(補正予算化済み 約1億4,400万円)

→都の補助金を活用し、高齢者が自己負担なしで予防接種を接種できるようにします。

6

Ⅱ 新型コロナウイルス感染症関連対策



(4) 新型コロナウイルスワクチン接種事業【国事業】

【対象:小児・12歳以上】 (補正予算化済み 約4億7,200万円、補正予算案 約2億9,200万円)
→5歳以上11歳以下の小児を対象とした接種、及び12歳以上の方を対象としたオミクロン株対応ワクチンの接種を進めます。

【対象:乳幼児】 (補正予算化済み 約5,400万円)
→生後6か月以上4歳以下の乳幼児を対象とした接種を開始します。

(5) ふるさと納税等「新型コロナ対応市内医療機関・医療従事者応援プロジェクト」 【市事業】 (補正予算案 3,500万円)

→地域医療の崩壊を食い止め、市民の健康を守るため活動している市内医療機関や医療従事者を応援します。

- ・過去の贈呈額：令和2年度 1,693万円、令和3年度 2,300万円

7

Ⅱ 新型コロナウイルス感染症関連対策



(6) 障害者施設等におけるPCR検査等補助事業(継続)【都事業】

(補正予算化済み 2,000万円、補正予算案 800万円)

→PCR検査などを実施する障害福祉・介護サービス事業所等に対して、検査費用等を補助します。

(7) 居宅介護支援事業所等におけるPCR検査等補助事業(継続)【市事業】

(補正予算化済み 100万円)

→東京都の事業対象期間が令和5年3月末まで延長されたため、検査費用の補助を継続するとともに、東京都の補助対象外である居宅介護支援事業所等に対しても補助を継続します。

(8) その他の取り組み(継続事業)

- ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金【国事業】

8

定例記者会見発表資料

令和4年11月24日(木)
立川市総合政策部広報課

発表項目	たちかわ子育て応援金（物価高騰対策）事業
<p>【概要】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、食料品等の価格上昇が続いています。そのため、食費等の負担が家計を圧迫している子育て世帯に対し、給付金を支給します。</p> <p>①対象児童及び支給対象者 次のいずれかの児童（0歳から18歳）を養育する方へ支給します。 ア 平成16年4月2日から令和4年11月30日生まれの児童。 イ 令和4年12月1日から令和5年3月31日生まれの新生児。</p> <p>②支給額 1万円（対象児童1人あたり）</p> <p>③申請及び支給について ・立川市から令和4年12月分の児童手当を受給する方は、申請不要で1月中旬に児童手当受給口座へ振込予定 ・その他の方は、申請が必要で申請受付後審査の終了した分から2月上旬より月1回～2回指定口座へ振込予定。申請期限は3月15日（新生児については4月28日）</p> <p>【事業費（案）】</p> <p>予算総額 322,433千円（内、応援金予算 310,000千円 3万1,000人想定） （令和4年度12月補正予算に計上）</p> <p>【PRポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立川市独自の支援策です。 ・養育者の所得による制限は設けません。 <p>※今議会で関係する議案・報告委員会：補正予算審議及び厚生産業委員会にて報告</p>	
添付資料	無
問い合わせ先	<p>子ども家庭部子育て推進課長 五箇野 豊 電話：523-2111（内線）1125</p>

定例記者会見発表資料

令和4年11月24日(木)
立川市総合政策部広報課

発表項目	燃やせるごみ専用袋全戸配布事業
<p>【概要】</p> <p>市内全世帯に家庭用燃やせるごみ専用袋の全戸無料配布を行うことで、原油高や物価高に直面する市民の方に対し、ささやかながら広く支援を図ります。</p> <p>① 対象 住民登録している世帯 約96,000世帯 (DV等の理由により住民登録していない世帯を含む方向で調整中)</p> <p>② 配布数 ・1~2人世帯⇒小袋(10%) 30枚 ・3人以上世帯⇒小袋(10%) 60枚 (1~2人世帯は月10枚、3人以上世帯は月20枚使用換算で3か月分を想定)</p> <p>③ 配布時期 令和5年3月頃(地域別に順次発送する方向で調整中)</p> <p>【事業費(案)】</p> <p>予算総額 74,232千円(令和4年度12月補正予算に計上)</p> <p>【PRポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立川市独自の支援策です。 ・所得による制限は設けません。 <p>※今議会で関係する議案・報告委員会：補正予算審議及び環境建設委員会にて報告</p>	
添付資料	無
問い合わせ先	<p>ごみ対策課長 大須賀 一夫 電話：523-2111(内線)6750</p>

定例記者会見発表資料

令和4年11月24日(木)
立川市総合政策部広報課

発表項目	保育施設・幼稚園等に対する補助
<p>【概要】</p> <p>物価高騰に直面する保育施設等について、高騰する光熱水費等を対象とした補助を行い、事業の継続を支援します。</p> <p>①事業の対象 認可保育所、地域型保育施設（小規模保育事業、家庭的保育事業）、幼稚園、認定こども園、企業主導型保育施設、認証保育所〔計71施設〕 一時預かり事業・定期利用保育事業〔各14施設〕、病児保育事業〔2施設〕</p> <p>②対象経費 光熱水費等における物価高騰分</p> <p>③対象期間 令和4年10月分～令和5年3月分</p> <p>④補助額 児童1人当たり月額1,150円 一時預かり事業、定期利用保育事業、病児保育事業は、児童1人当たり日額60円（食材費含む）</p> <p>【事業費（案）】</p> <p>予算総額 43,792千円（令和4年度12月補正予算に計上）</p> <p>【PRポイント】</p> <p>・東京都の支援事業を踏まえ、市独自で対象を拡大（幼稚園、企業主導型保育施設）して実施する事業です。</p> <p>※今議会に関係する議案・報告委員会：補正予算審議及び厚生産業委員会にて報告</p>	
添付資料	無
問い合わせ先	<p>子ども家庭部保育課長 加藤 英樹 電話：523-2111（内線）1115</p>

定例記者会見発表資料

令和4年11月24日(木)
立川市総合政策部広報課

発表項目	学校給食食材費高騰への対応(追加分)について
<p>【概要】</p> <p>物価高騰により、学校給食の食材費へも影響が及んでいることから、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して、令和4年6月より食材購入費の補助として給食一食当たり10円を交付しています。しかしながら、その後も物価高騰が継続している状況から、令和4年10月時点で食材費高騰の影響を再調査し、1食当たり5円の追加補助を実施することとしました。</p> <p>【事業費(案)】</p> <p>当初分：補助額 給食一食当たり10円 <u>17,087,000円</u> 追加分：補助額 給食一食当たり5円 <u>3,411,000円</u> <u>事業規模総合計 20,498,000円</u></p> <p>【事業期間 or 開始時期】</p> <p>当初分：令和4年6月～5年3月分 追加分：令和4年12月～5年3月分</p> <p>【PRポイント】</p> <p>物価高騰の影響が拡大していることから、給食費の値上げを行わずに学校給食の水準を維持するため、必要な補助を行います。</p> <p>※今議会で関係する議案・報告委員会：補正予算案</p>	
添付資料	無
問い合わせ先	教育部学校給食課長 青木 勇 電話：523-2111(内線)6810

定例記者会見発表資料

令和4年11月24日(木)
立川市総合政策部広報課

発表項目	新型コロナ対応市内医療機関・医療従事者応援プロジェクト
<p>【概要】</p> <p>コロナ禍の中、地域医療の崩壊を食い止め、市民の健康を守るために活動している市内医療機関や医療従事者を応援するため令和2年度から「新型コロナ対応市内医療機関・医療従事者応援プロジェクト」を創設しており、令和4年度についても市内医療機関や医療従事者等へ応援金を贈呈いたします。</p> <p>【事業費(案)】</p> <p>予算案 3,500万円</p> <p>【事業期間 or 開始時期】</p> <p>令和4年12月23日(金)午後1時45分から、立川市役所で贈呈式</p> <p>【PRポイント】</p> <p>今後到来が想定される第8波などへの対応も見据え、令和2年度、3年度に引き続き、令和4年度についても、三師会及び新型コロナ外来開設病院等を対象に応援金を贈呈します。</p> <p>※今議会で関係する議案・報告委員会：厚生産業委員会にて報告</p>	
添付資料	無
問い合わせ先	福祉保健部健康推進課長 鈴木 央子 電話：523-2111(内線)4700

定例記者会見発表資料

令和4年11月24日(木)

立川市総合政策部広報課

発表項目	「コロナ禍でもプレミアムな結婚を」キャンペーン開催
<p>【概要】</p> <p>本市は、カップル応援キャンペーンとして、「コロナ禍でもプレミアムな結婚を」を開催します。12月1日(木)以降、立川市にプレミアム婚姻届を提出し、市役所1階プレミアム婚姻届記念写真撮影コーナーで写真撮影された方を対象に、抽選でSORANO HOTEL 宿泊券が当たるなどの取組を実施し、プレミアム婚姻届で2人の門出をお祝いします。</p> <hr/> <p>①抽選で2組にSORANO HOTEL 宿泊券プレゼント(12/1～先着70組に抽選券配布) ②プレミアム婚姻届制作会社オリジナルグッズプレゼント(12/1～先着70組に配付) ③抽選で10組に新鮮野菜と加工品詰合せプレゼント(12/1～先着70組に抽選券配布) ④「たちかわの輝く個店」の約40店舗から素敵な特典を提供(婚姻届を提出した日から1年間) ※従前より実施している取組です。</p> <hr/> <p><対象></p> <p>①～③: 12月1日(木)以降に立川市プレミアム婚姻届を立川市に提出し、市役所本庁舎内記念写真撮影コーナーで写真撮影を行ったカップル ④ : 記念写真撮影コーナーで撮影した写真を、各店舗で提示する。</p> <p>【PRポイント】</p> <p>立川市プレミアム婚姻届は、本市のオリジナル婚姻届として平成28年に販売を開始し、写真を飾ったり筆跡を残せる機能性や、シンプルで明るく高級感のあるデザイン、また地元商店街等と連携した特典提供などが高く評価され、「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー地方創生大賞」や「2019年度グッドデザイン賞」を受賞しています。</p> <p>今般、コロナ禍ではありますが、ちょっとプレミアムに過ごしていただけるキャンペーンを通して、立川市は地域を挙げて結婚の思い出作りをお手伝いします。</p> <p>※今議会で関係する議案・報告委員会：予定なし</p>	
添付資料	無
問い合わせ先	総合政策部 シティプロモーション推進担当課長 太田 勇 電話：523-2111(内線)2167

定例記者会見発表資料

令和4年11月24日（木）

立川市総合政策部広報課

発表項目

東京・多摩エリアの発酵が集まる博覧会
「発酵で旅する東京の森～Fermentation Tourism Tokyo～」
開催中

【概要】

立川市、昭島市、福生市、羽村市、青梅市で組織する青梅線エリア女子旅推進委員会では、11月5日（土）から GREEN SPRINGS 2F TAKEOFF-SITE にて、東京・多摩エリアの発酵文化を紹介する発酵ツーリズム博覧会を開催しています。

多摩エリアをはじめ、全国の発酵食品について展示で学び、物販エリアで実際に購入することができます。トークショーやワークショップなどのイベントも開催。

また、発酵を軸に多摩エリアを巡る旅のコースも紹介しており、多摩エリアの発酵食を五感で学び、体験した後は旅に出させていただく観光連動型の博覧会です。

【開催期間】

令和4年11月5日（土曜日）～12月4日（日曜日）午前11時～午後7時

【会場】 GREEN SPRINGS 2F TAKEOFF-SITE 東京都立川市緑町 3-1

【公式サイト】

<https://fermentation-tourism.tokyo/>



【今後のイベント】

●多摩のビール即売会 [11月26日（土）] 13:00-16:00

立飛麦酒醸造所（立川）とイサナブルーイング（昭島）、ブルワリー2社のみなさんが来場して、ビールについて話をききながらその場でビールを購入することができます。

●発酵デザイナー小倉ヒラク氏の展示ツアー [12月1日（木）]（※時間は調整中）

本企画のプロデューサーである小倉ヒラク氏による、展示のツアーを行います。
※詳細は、近日中に公式サイトに掲載いたします。

●発酵デザイナー小倉ヒラク氏のトークショー [12月3日（土）] 16:30～

本企画のプロデューサーである小倉ヒラク氏により、「発酵ツーリズムの可能性」をテーマに多摩地域の新たなツーリズムの展望について語っていただきます。



【発酵デザイナー 小倉ヒラク氏について】

「見えない発酵食たちの働きをデザインを通してみえるようにする」ことを目指し、全国の醸造化や研究者たちと発酵・微生物をテーマとしたプロジェクトを展開。D47 MUSEUM「Fermentation Tourism Nippion～発酵から再発見する日本の旅～」キュレーター。著書『発酵文化人類学』『日本発酵紀行』など多数。

【発酵ツーリズムについて】

小倉氏が全国津々浦々を巡り、発酵ツーリズムというその土地の発酵文化を掘り起こす新しい旅のカタチ。地域おこしの一つ的手段として注目されている。

- ・その土地にしかない発酵文化を訪ねる
- ・醸造化や醸造の風景に出会う
- ・醸造を通してその土地の風土と歴史を深く知る

※今議会で関係する議案・報告委員会：予定なし

添付資料	有
問い合わせ先	総合政策部 シティプロモーション推進担当課長 太田 勇 電話：523-2111（内線）2167

発酵で FERMENTATION TOURISM TOKYO 旅 東京の森

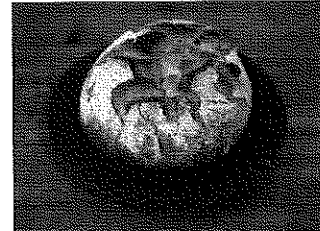
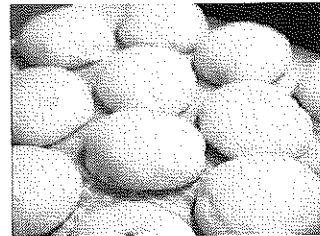
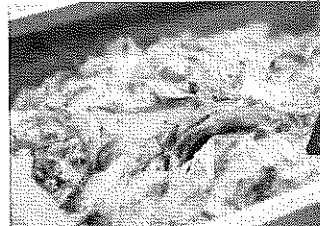
歩いて見える多摩の発酵が楽しめる博覧会



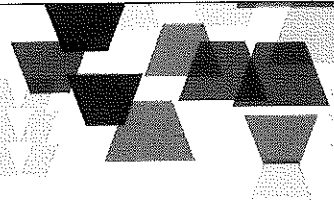
'22.11.5 sat — 12.4 sun 11:00-19:00 <https://fermentation-tourism.tokyo>

会場 | GREEN SPRINGS 2F TAKEOFF-SITE 東京都立川市緑町3-1 入場料 | 無料 プロデュース | 小倉ヒラク
 主催 | 青梅線エリア女子旅推進委員会 問合せ | 青梅線エリア女子旅推進委員会事務局(飯生市のマセキセールズ推進課内) / Tel 042-551-1740 企画・運営 | 発酵デザインラボ





ぎゅぽぽ〜!
木ののののに呼ばれた!!



発酵でする 旅の東京の森

FERMENTATION
TOURISM TOKYO

<https://fermentation-tourism.tokyo>

多摩の発酵が集まる エキスポ開催!

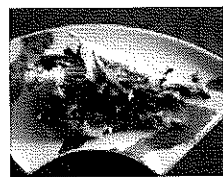
遠いようで近い、知ってるようで知らない
東京・多摩エリアの発酵食が
立川・GREEN SPRINGS に大集合!
発酵を知って、買って、
EXPO を楽しんだ後は
発酵の旅に出よう!

12.15 sat 12.4 sun 11:00-19:00

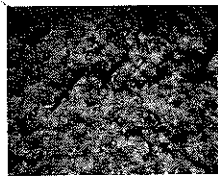
知る

多摩エリアの発酵食品を一挙紹介!

同時に 47 都道府県のローカル発酵食品も展示。
ここから発酵の旅が始まります。



秋田県「ハクハクずし」



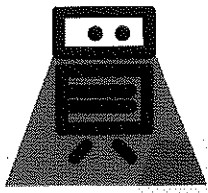
和歌山県「金山寺味噌」

<上から> 日本酒 (石川清造 / 福生市)、
打ちいれ (羽村市)、鮎節 (三上総節店 /
立川市)、酒糠頭 (茶の子 / 昭島市)、
パン (noco BAKERY & CAFE / 青梅市)

学べる

トークやワークショップなどの
イベントも開催します!

会期中は会場で発酵をテーマにしたイベントを開催。
発酵を通して文化や地域を学ぶことができます。



う

東京下北沢の「発酵デパートメント」
が出張出店します!

多摩エリアの発酵食品はもちろん日本全国の発
酵食品がその場で買えます。

発酵

MARKET
DEPARTMENT

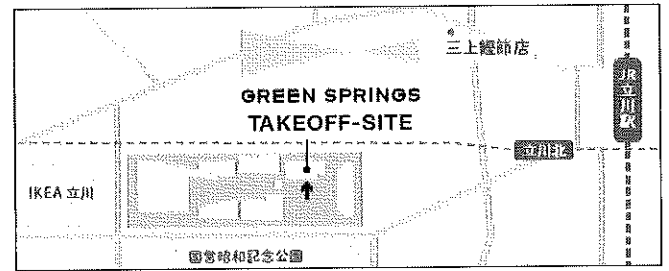


FERMENTATION
TOURISM TOKYO



プロデュース
小倉ヒラク

1983年生まれ。発酵デザイナー。「見えない発酵菌
たちのはたらきを、デザインを通して見えるようにする」
ことを目指し、全国の醸造家や研究者たちと発酵・
微生物をテーマにしたプロジェクトを展開。商品開発
や絵本・アニメの制作、ワークショップなどを手掛ける。



プロデュース | 小倉ヒラク 会場 | GREEN SPRINGS 2F TAKEOFF-SITE 東京都立川市緑町 3-1 入場料 | 無料

主催 | 青梅線エリア女子旅推進委員会 問合せ | 青梅線エリア女子旅推進委員会事務局 (福生市シティセールス推進課内) / Tel 042-551-1740 企画・運営 | 発酵デザインラボ
クリエイティブディレクション | HLL Inc. アートディレクション・デザイン | 船川誠 (SNG) 会場構成 | 湯野原太 (SUSY) 事務局 | 藤原 久美子 (SUSY) 協賛 | 永原 真夏、山本 尊真 | 山岸 和人 協賛 | 栗山 雄太 (LAPP) 山内 賢英、山岸 和人 協力 | けやき出版 撮影協力 | 石川 潤也



定例記者会見発表資料

令和 4 年 11 月 24 日 (金)
立川市総合政策部広報課

発表項目	立川シアタープロジェクト 子どもとおとながいっしょに楽しむ舞台 vol. 6 『青い鳥 ～チルチルミチルの冒険～』、関連企画「子ども未来エンゲキ部」、「市民創作ゼミ」について
-------------	---

【概要】

2016 年よりはじまった、立川市、立川市地域文化振興財団、たちかわ創造舎（企画・運営：NPO 法人アートネットワーク・ジャパン）による「立川シアタープロジェクト」は、立川市内での質の高い演劇作品・演劇空間の創造と発信、世界にはばたく人材の育成を目指した活動を行っています。

この立川シアタープロジェクトによる主催公演子どもとおとながいっしょに楽しむ舞台シリーズ 6 作目はクリスマスの童話『青い鳥 ～チルチルミチルの冒険～』を上演します。昨年度から継続して、アットホームな雰囲気の中で演劇を楽しめる環境である小ホールを会場として開催します。

クリスマス公演の関連企画、子ども未来エンゲキ部『『青い鳥』の世界をいっしょにつくろう』では、観るだけでなく参加してみたいというお子さんの声に応えるべく、小学生から高校生を対象に、演劇に関わる 2 つのワークショップを開催します。ひとつは公演で実際に使われる舞台美術をいっしょにつくるワークショップ。もうひとつはプロのダンサーが振付した劇中のダンスをみんなで踊って撮影するワークショップを開催します。撮影したダンスの映像は公演期間中ロビーにて上映し劇への期待を膨らませます。

新企画『市民創作ゼミ』は「街から演劇を発想しよう！」をキャッチフレーズに演劇の台本のもととなるプロットを市民の方々が創作していきます。12 月 3 日の説明会に参加した方から応募いただき選考の後、1 月から 3 月にかけて 3 回のゼミナール形式で開催します。今回のゼミでは立川駅北側のサンサンロード周辺の街を歩いて演劇になりそうな題材を探します。アーティストと参加者、参加者同士が意見交換をしながら進めていき、それぞれがプロットを創作します。

【事業費（案）】

- ・別添予算書の通り

【事業期間 or 開始時期】

- 子どもとおとながいっしょに楽しむ舞台 vol. 6 『青い鳥 ～チルチルミチルの冒険～』

開催日時

2022 年 12 月 23 日 (金) 15:00 開演, 24 日 (土) 11:00/15:00 開演, 25 日 (日) 11:00/15:00 開演
全 5 回公演、上演時間約 60 分

- 子ども未来エンゲキ部『『青い鳥』の世界をいっしょにつくろう』

開催日程

舞台美術編

2022 年 12 月 17 日 (土) 9:00-10:15/10:30-11:45

ダンス編

2022 年 12 月 17 日 (土) 10:30~12:00/13:00~14:30/15:00~16:30

- 街から演劇を発想しよう！『市民創作ゼミ』

〈説明会〉12 月 3 日 (土) 10:30-12:30

〈説明会参加申込締切〉12 月 1 日 (木) 17:00 まで

〈ゼミ応募締切〉12 月 9 日 (金) まで/12 月 12 日 (月) 選考結果通知

〈ゼミ日程〉

2023 年 1 月 14 日 (土) 13:00-17:00

2022 年 2 月 11 日 (土) 13:00-17:00



くらいが、一番いい

2022年3月4日(土) 13:00-17:00

【PRポイント】 ※全国初、多摩地域初、〇周年、〇年の期間をかけて・・・、など

- ・事前のワークショップで本公演と関連させつなげることで演劇、劇場に親しむ機会を創出する。都心に赴かずとも上質な文化体験が可能となり、立川市はもちろん昭島市、日野市、国立市などでの情報発信の協力を得て、多摩エリア全体の文化向上へとつなげることができる。
- ・多摩地域の交通の中心である立川にある、たましん RISURU ホール、子ども未来センターを拠点とすることで、他の多摩エリアの住民もアクセスしやすく、多くの人々の参加・交流が期待でき、立川市の活性化にもつなげることができる。
- ・たちかわ創造舎を拠点に活動するアーティストが中心となって創作するため、地域住民から親しまれている俳優が多く出演しており、地域に根差した舞台作品となっている。
- ・いずれの企画も入場料、参加費を低価格に設定していることから、若い世帯にとって、立川市が文化・芸術に親しみやすい、住みやすい環境であることを知ってもらう機会も担っている。
- ・実際に街を歩き物語のプロットを創作していくことで、人とのふれあいや発見を通して、地域と文化をつなぎ、伝えられる物語を生み出していく。

※今議会に関係する議案・報告委員会：無

添付資料	有
問い合わせ先	立川シアタープロジェクト実行委員会（たちかわ創造舎） 電話：042 - 595 - 6347 産業文化スポーツ部 地域文化課長 轟 誠悟 電話：523 - 2111（内線）4500

クリスマスに演劇を!

子どもからおとなまで、みんなが楽しめる演劇の贈りもの。



立川シアタープロジェクト
presents

迷
子

鳥の冒険
チルチルミチルの冒険



子どもとおとなが
いっしょに楽しむ舞台

vol.6

2022

12/23^金 - /15:00

24^土 11:00 / 15:00

25^日 11:00 / 15:00

たましんRISURUホール 小ホール

大人 ¥2,000 中学生 ¥1,000 小学生以下 ¥500 (税込)

全席指定

※3歳以下席上無料。お席が必要な場合は有料。
※中学生の方は学生証を当日受付にご提示ください。

チケット販売窓口

窓口 たましん RISURU ホール
042-526-1311 (9:00~20:00) ※第3月曜日休館

WEB 財団オンラインチケット
<https://www.tachikawa-chiikibunka.or.jp>



前売開始 2022年11月14日(月)

※発売初日は電話予約・オンラインのみ (10:00~)

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った上で実施します。

詳細はWEBサイトをご確認ください。

【公演について】たちかわ創造舎 TEL 042-595-6347 <https://tachikawa-sozoshu.jp>

【会場について】たましん RISURU ホール TEL 042-526-1311 <https://www.tachikawa-chiikibunka.or.jp>

主催：立川シアタープロジェクト実行委員会 (立川市・立川市地域文化振興財団・NPO 法人アートネットワーク・ジャパン)

協賛：株式会社共立 協力：株式会社社会人計画研究所 後援：立川市教育委員会、昭島市教育委員会、日野市教育委員会、国立市教育委員会

企画・製作：たちかわ創造舎 (NPO 法人アートネットワーク・ジャパン)

〔原作〕モーリス・メーテルリンク『青い鳥』

〔台本・演出〕倉迫康史 (Marek Orzechowski / たちかわ創造舎・アイレクター)



「子どもとおとながいっしょに楽しむ舞台」シリーズは、名作文学を題材に、世代を超えて親しまれる演劇を、クリスマスの華やいだ劇場で上演するものです。シリーズ 6 作目となる演目はクリスマスの童話『青い鳥』。貧しい木こりの息子チルと妹のミチルは、イヌとネコのお供をつれて、不思議な世界へ青い鳥をさがしにでかけます。いろんな国を巡るふたりは、無事に青い鳥を見つけることができるのでしょうか？

青い鳥

チルとミチルの冒険

DATE & TIME

2022年

12月23日(金) - / 15:00

24日(土) 11:00 / 15:00

25日(日) 11:00 / 15:00

※当日券の発売は開演の1時間前。
 ※受付・開場は開演の30分前を予定。
 ※上演時間は60分を予定。(途中休憩なし)

BOOKING TICKET

たましん RISURU ホール
 042-526-1311 (9:00~20:00) 第3月曜日休館

財団オンラインチケット
<https://www.tachikawa-chiikibunka.or.jp>



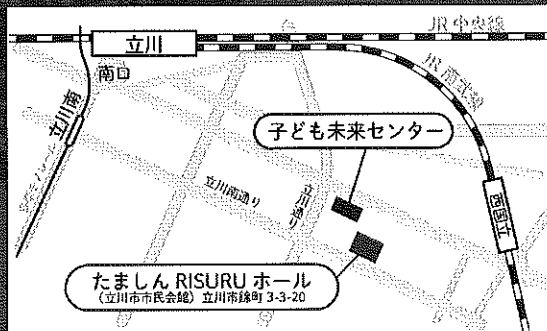
VENUE

たましんRISURUホール 小ホール

JR中央線「立川」駅南口より徒歩13分
 JR南武線「西国立」駅より徒歩7分
 多摩モノレール「立川南」駅より立川南通りを直進 徒歩12分

CAST & STAFF

台本・演出... 倉迫康史 (Theatre Ort / たちかわ創造舎ディレクター)
 原作... モーリス・メーテルリンク『青い鳥』
 出演... 平佐喜子、小林至、岩倉真彩 (以上、Theatre Ort)
 仲坪由紀子 (フォーチュンシアター)、大原よしの
 音楽・演奏... 古川玄一郎 (打楽器奏者)
 舞台監督... 小林英雄
 照明... 伊藤馨
 舞台美術... 林周一 (風煉ダンス)、ワークショップ参加者
 振付... うえもとしほ (すてやかクラブ)
 「まんぷくダンス」「たんじょうダンス」



子ども未来エンゲキ部

2つのワークショップで作品に参加できます！舞台上で登場する青い鳥やカシの木の大王を作ったり、プロのダンサーが振付した劇中のダンスを踊って撮影したりしてみませんか？

舞台美術 <講師> 林周一 (風煉ダンス)
 ①10:30~12:00 / ②13:00~14:30 / ③15:00~16:30
 会場：ギャラリー
 対象：工作や美術などが好きな子どもとその保護者
 参加費：1名につき 500円 (税込)
 定員：各回親子 4組程度 (1組4名まで)

ダンス <講師> うえもとしほ (すてやかクラブ)
 ①9:00~10:15 / ②10:30~11:45
 集合：多目的室
 対象：身体で表現することを楽しみたい小・中・高生
 参加費：500円 (税込) 定員：各回 10名程度
 ※収録したダンス映像は公演当日、会場エンタランスで上映。
 SNSでも公開されます

申込み たちかわ創造舎 WEB サイトのイベントページから
 お申込みください。※応募多数の場合は抽選
<https://tachikawa-sozoshajp/events/20221217>



募集開始：11月14日(月)→
 申込締切：12月2日(金)17:00まで

『青い鳥』の世界を
 一緒に楽しもう

12月17日(土)

立川市
 子ども未来センター

主催 | 立川シアタープロジェクト実行委員会 | 共催 | 立川市子ども未来センター(株式会社合人社計画研究所) | 企画・製作 | たちかわ創造舎(NPO法人アートネットワーク・ジャパン)

立川シアタープロジェクトとは？
 2016年よりはじまった、立川市・立川市地域文化振興財団・たちかわ創造舎(企画・運営：NPO法人アートネットワーク・ジャパン)によるプロジェクト。
 立川市内を中心に、質の高い演劇作品・演劇空間の創造と発信、世界にはばたく人材の育成を目指した活動を行っています。

たちかわ創造舎
 Tachikawa Culture Factory

お問合せ
 たちかわ創造舎
 TEL 042-595-6347 (平日 9:00-17:00)

URL <https://tachikawa-sozoshajp/tto/bluebird.html>



■立川シアタープロジェクト／2022年度予算

企画名	予算額	備考
子どもとおとながいっしょに楽しむ舞台vol.6 『青い鳥～チルチルミチルの冒険～』	3,610,000円	12月23～25日開催（5回公演） 会場：たましんRISURUホール小ホール
子ども未来エンゲキ部 舞台美術&ダンスワークショップ「『青い鳥』の世 界をいっしょにつくろう」	542,250円	日時：12月17日（土） 舞台美術編 ①10:30-12:00／②13:00-14:30／③15:00-16:30 会場：立川市子ども未来センター・ギャラリー ダンス ①9:00-10:15／②10:30-11:45 集合：立川市子ども未来センター・多目的室
街から演劇を発想しよう！『市民創作ゼミ』	828,250円	〈説明会〉12月3日（土） 〈ゼミ日程〉 2023年1月14日（土）、2月11日（土）、3月4日（土） 会場：たましんRISURUホールサブホール